

# 従業員との関わり

従業員は、日本ユニシスグループがお客さまに対して数々のサービスをご提供する上で非常に大切なステークホルダーです。当グループには、従業員が安心して働ける数々の制度があります。

## 人材育成

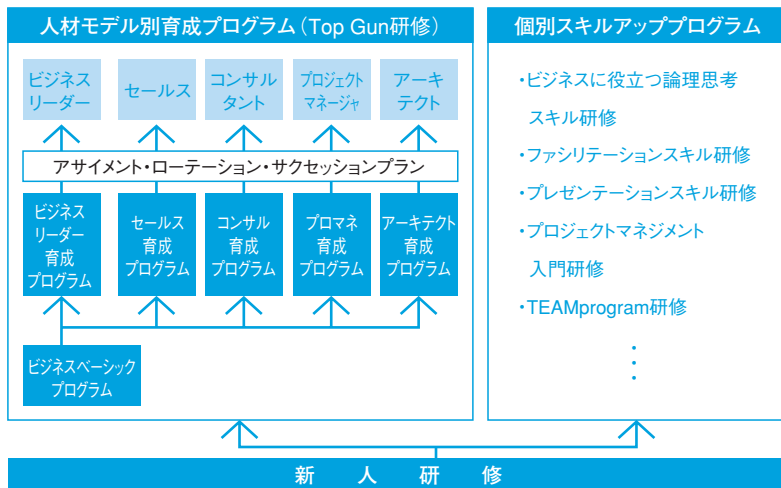
お客さまに満足していただけるサービスをご提供するには、従業員の育成が不可欠です。当グループでは従業員の人材育成に力を入れており、過去に能力開発優秀企業賞\*受賞の実績があります。

### 人材育成の概要

日本ユニシスでは、2004年度より、新入社員育成プログラム (Camp\*) をスタートさせました。

このCampは、人材モデル別の育成プログラムと、個別スキルアッププログラムの2系統に大きく分かれています。まず、人材モデル別の育成プログラムは、通称「Top Gun (トップガン) 研修」と呼ばれ、コンサルタント、プロジェクトマネージャ、アーキテクト、セールス、ビジネスリーダーなどのキーとなる人材モデルごとに、高いポテンシャルを持った人材を選抜指名し、3~6ヶ月の期間で、集中的に教育するプログラムです。一方、個別スキルアッププログラムは、論理思考スキル、ファシリテーションスキルなどの個別のスキルの強化を図るためのプログラムで、通常1~2日間のコースです。

### 【Camp体系図】



### Campの目的

今後、日本ユニシスグループが、ITサービスにおける真のリーディングカンパニーとなるためには、高いスキルだけではなく、当グループの経営にコミットし、お客さまの価値向上に貢献するという高い志を持った人材が必要となります。新入社員育成プログラム (Camp) の目的は、単なるスキルの向上を図るための内容を超え、志 (マインド) の醸成・向上を図るための内容が必要との考えから、スキルとマインドの双方を鍛えることを主眼としています。

### 受講実績

2004年度は、25プログラム (120クラス) が実施され、のべ約2,500名が受講し、スキルとマインドの向上を図りました。

\*能力開発優秀企業賞  
 (社)日本能率協会が、企業人の能力開発活動によって企業の体質が改善・強化され、業績ともに優秀な企業または事業所を表彰し、企業及び産業界における能力開発活動の一層の促進を図ることを目的とし、毎年応募された中から各賞を贈賞しています。  
 (一部2005年度能力開発優秀企業賞Webより抜粋)

\*Camp  
 Camp (Curriculum for Ambitious Managers and Professionals) とは「高い志を持ったマネージャとプロフェッショナルを育成するための人材育成プログラム」であり、高いスキルと志 (マインド) の双方を兼ね備えた人材を育成していくという気持ちが込められています。また、プロ野球のキャンプのように、受講者がシーズンでの活躍を目指して自己を向上させる場という意味が含まれており、研修プログラムの受講者が「シーズンでの活躍」=「業務での成果/お客さまへの貢献」を目指して、切磋琢磨する場となる思いも込められています。

### 受講者の声

視点がひとつ高くなり、日本ユニシスグループ全体として考えるようになった気がします。また経営者の方々と話す機会が多々あったため、今後の提言、相談等しやすくなったと思います。トップガン研修は、課題も多く、と



てもハードな研修ですが、乗り切ってみると自分自身の何かが向上しているだけでなく、各部署に同じ思いを持った同僚が、たくさんできたことが財産だと感じます。

日本ユニシス・ソリューション(株)金融第一サービス本部  
 システム三部システム五室 野川 一郎

## 就業環境

日本ユニシスグループには従業員が安心して働くことができるよう数々の制度があります。

### 休暇制度

当グループでは、従業員の就業環境向上のため、法規を越えた高水準の休暇制度が多くあります。個々の制度の詳細については各会社によって違っております。

【日本ユニシス休暇就業制度(抜粋)】 2005年度から日本

制 度	ユニシスでは、社会貢献活動休暇制度が制定されました。また、育児休職制度は男性を含め多くの従業員が利用しています。
産前産後休職	
育児休職	
介護休職	
私傷病休職	
育児時間	
介護時間	
産前産後休職中の社会保険料補助	
フレックスタイム制勤務	
積立特別有給休暇	
社会貢献活動休暇	
リフレッシュ特別有給休暇	

【休暇・就業時間制度利用状況】

	育児休職 取得	介護休職 取得	介護 (積立特別有給休暇)	勤務時間短縮 (育児)
2002年度	63	0	1	158
2003年度	69	1	8	145
2004年度	73	2	7	182

### キャリア形成支援

従業員それぞれのライフプランに合わせた選択ができるよう、定年退職者の再雇用制度、セカンドライフプラン設計準備制度(退職後の生活設計準備期間をサポート)、地

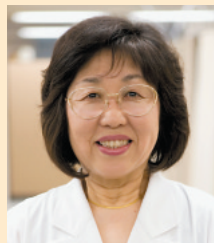
域定住オプション制度(転勤しない条件で通勤可能な事業所への勤務を選択する制度)、また、新規プロジェクト等に応募できるオープン・e-ジョブ制度があります。

### 健康管理センター

健康管理センターは健康管理室と診療所で構成されています。労働安全衛生法で義務付けられている定期健康診断の結果に基づき、従業員一人ひとりの健康状態を把握し、生活習慣病等の予防のために生活指導を行うと同時に、治療を要する従業員に対しては、診療所にて治療を行っています。また、疾病や疾病の予兆が認められる従業員に対しては、定期健康診断以外に各種検査を実施(管理健康診断)し、経過を観察しています。

メンタルヘルスケアについては、診療所に精神科があり、産業カウンセラーが一次対応を行い、その上で医師の診断を受ける体制をとっています。さらに、グループ全体でも、カウンセリング体制を整え、各従業員のメンタルヘルスケアに努めています。

#### 健康管理センターから



従業員のみなさまが、ご自身の健康をコントロールし、仕事に大きな成果をあげていただけるようお手伝いしていきたいと思っています。

健康管理センター保健師 伊藤 由美子

## 労使

### 日本ユニシス労働組合



日本ユニシス労働組合  
中央執行委員長  
高橋 明

労働組合では、従業員の生活水準の向上や働き甲斐の向上を目指して各種の活動を実施していますが、近年では「従業員のモチベーション向上」に特に力を入れています。2002年度、2003年度には会社と共同でワーク・モチベーション・サーベイを実施し状況把握に努め、モチベーション向上の施策について会社と協議を重ねて

きました。具体的には、2003年度からの新人事制度の策定及び2005年度からの改定に際し、労使メンバにて特別委員会を立ち上げ、従業員視点を取り入れた制度を会社と一緒に作り上げました。

2005年度から会社も新たに「CSR推進室」を立ち上げ、ステークホルダーとしての従業員の位置付けを再認識していることは労働組合にとっても大変喜ばしいことであり、結果的にはお客さまの満足度向上、株主さまへの利益還元、そして我々従業員の満足度向上、という好循環をもたらすと考えますので、今後もより一層労使で協力しながら「従業員のモチベーション向上」を図っていきたく考えます。

# 社会との関わり

日本ユニシスグループは、社会や地域の豊かな、そして健全な発展に貢献していくために、企業行動憲章に則り、「良き企業市民」として積極的に社会貢献活動を行っています。

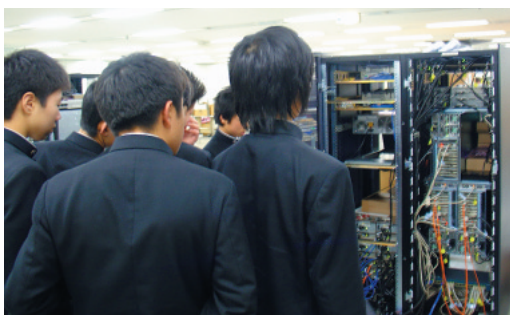
## 事業活動を通じての取り組み

日本ユニシスグループは、広く事業活動を通じた社会貢献活動に取り組んでいます。

### 中・高校生の企業訪問に協力

当グループでは、長年にわたって学生の企業訪問を受け入れています。私たちとの出会いを通じ、コンピュータやITサービスビジネスへの関心を持ってもらうこと、さらには、この体験を通じて働くことの意義や大切さを知ってもらいたいとの思いからです。

2004年度は、6校の生徒のみなさんが当社を訪問されました。最新テクノロジーであるICタグのデモンストレーション



見学や大型コンピュータ、高速プリンタの操作体験などを通じ、普段接することがないIT環境に触れていただきました。

### 教員の民間企業研修に協力

学校の先生方に企業活動を体験していただき、その体験や見聞を授業を通じて子どもたちへ伝えていただくことを目的に、(財)経済広報センターが実施している教員のための企業研修に協力しています。

2004年度は、7月に人材育成サービスを担当する日本ユニシス・ラーニングが中心となり、企業活動の流れを体験できるオリジナルプログラム、最新のeラーニング教材の体験、インストラクショナル・デザイン技法の講義などを通し、企業活動全体についてご理解いただきました。

### 新潟県中越地震特別保守サービス

新潟県中越地震により被害を受けたお客さま向けに、弊社提供の機器を対象にして、24時間受付の特別保守サービスを無料で行いました。

他、「事業活動を通じたCSRへの取り組み」でも紹介しているように、さまざまな分野で広く社会に貢献しています。

## 地域貢献

日本ユニシスグループは、地域社会とのコミュニケーションを大切にし、積極的に貢献活動を行っています。

### 地域のクリーン活動

当グループの従業員有志による「豊洲キレイにし隊!」が、昼休みを利用して定期的に、本社がある江東区豊洲地域の清掃活動を行っています。



### 地域の文化活動への取り組みを支援

江東区内の中学生の連合吹奏楽団が、江東区ゆかりの東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団のレッスンを受け、一



緒のステージで演奏する「元気の出るコンサート」に継続的に協賛しています。日本ユニシスグループは、この協賛を通じ、健全で心豊かな青少年育成、地域の音楽文化の向上、そして活気や潤い、生活のゆとりを感じる町づくりを応援しています。

また、その他支社・支店やグループの各事業所でも、祭事への参加やリサイクル活動への協力など、地域社会との共生を目指しさまざまな活動を行っています。

## 従業員のボランティア活動支援

従業員のボランティア活動促進のために、情報や機会の提供、制度の整備を行っています。これからも従業員一人ひとりの自主的な「できることから、はじめたい」という気持ちを積極的に支援していきます。

### 社会貢献活動休暇・休職制度

従業員一人ひとりの活動を支援するために、月に5日以内年間12日以内の「社会貢献活動休暇」、原則1ヶ月以上2年以内の「社会貢献活動休職」が取得できる制度を2005年4月から施行しています。

### 日本盲導犬協会への募金活動

社内に募金箱を設置しているほか、2004年12月7日には、ヴァイオリニスト川島成道さん\*のご協力をいただき、チャリティ社内コンサートを実施しました。また、2004年12月21日、募金活動に対し日本盲導犬協会から感謝状を授与され、その際に活動の啓発のため従業員向け「盲導犬ふれあい教室」を開催しました。



\*現在、日本で最も注目を集めているヴァイオリニスト。英国をベースにソロリストとして国際的に音楽活動を続けており、CD売上ランキングでは6年前のデビュー以来、ヴァイオリン部門1位を継続中。視覚障害を持ちながらも、通常のコンサートの他に、継続的に国内外で平和・弱者に光を当てるチャリティ・コンサート活動を精力的に行っている。日本ユニシスグループは、1998年から川島氏の音楽活動を支援しており、現在は継続的に年間オフィシャルスポンサーをつとめている。

## メセナ・スポーツ振興

心豊かな社会の実現を目指し、文化・芸術やスポーツの活動を支援しています。

### メセナ\*

川島成道氏をはじめ、国内外のアーティスト、交響楽団、海外の若手オペラ歌手の公演に協賛しています。



\*「メセナ」とは芸術文化の支援を意味するフランス語。学問や芸術などの文化を擁護したローマ帝国の大臣マエケナスの名に由来。

## コンサート会場での視覚障害者の方の誘導サポート

1998年から毎年、当グループが協賛する川島成道さんのコンサートに、視覚障害者とそのガイドの方々をご招待し、グループ従業員が会場内外でサポートするボランティア活動を続けています。2005年1月29日に開催された日本ユニシスプレゼンツ「川島成道 New Year's Concert 2005」には、日本点字図書館様のご協力で、視覚障害者とそのガイドの方々を含む100名をご招待させていただき、グループ従業員ボランティア21名がサポート活動を行いました。



東京都盲人福祉協会の方から事前に誘導講習を受け、「歩道や階段・エスカレータの誘導」「交通機関での誘導」「トイレの誘導」など実践を交えてのトレーニングを行い、当日に備えました。当日は、視覚障害者の方の中で、最寄り駅から会場までの送迎を希望された方のフルサポート及び開演前、休憩、終演後のホール内で、点字プログラムの配布、座席やトイレへの誘導のサポートを行いました。



## その他のボランティア活動支援

日本赤十字社の献血への協力や、使用済み切手・使用済みテレカ・書き損じはがきを回収しNPOを通じて南アジアのストリートチルドレンの生活改善支援などに役立つ活動を行っています。

## スポーツ振興

1990年創設の日本ユニシスの実業団バドミントン部は、2004年度は「日本リーグ」準優勝、「全日本実業団バドミントン選手権大会 ベスト4」、また選手がシドニーオリンピックに続き、2004年アテネオリンピック代表に選ばれるなど成果をあげています。



また、2004年7月には、バドミントン競技の発展のために、江東区亀戸スポーツセンターで行われた「第5回中学生バドミントンクリニック」において、部員が講師となり、多くの中学生にバドミントンの基本などを教えました。